

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理Ⅱ		美容学科/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	
授業の概要				
美容所における施設、設備、器具など衛生的管理及び消毒並びに従業者の健康管理の措置により、美容に関する衛生の向上及び確保を図ることを学ぶ。				
【実務経験】井川泉：美容師として13年の実務経験 美容所の衛生管理の必要性を指導する				
授業終了時の到達目標				
国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題		
2	公衆衛生の発展と歴史	欧米の公衆衛生の歩み 我が国の公衆衛生の歩み		
3	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業	歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生 公衆衛生と理容師・美容師		
4~ 6	保健	母子保健 成人保健 精神保健		
7	環境衛生の概要	環境衛生の内容 環境衛生の目的と意義 環境衛生活動		
8	環境衛生の概要	環境衛生の内容 環境衛生の目的と意義 環境衛生活動		
9	空気・水・日光	空気と健康 温度・湿度・気流(風)と健康		
10	空気・水・日光	水と健康 日光と健康 気候と健康		
11	衣食住と健康	衣服の衛生 食品の衛生 住居の衛生		
12	上下水道と廃棄物	上水道 下水道 廃棄物		
13	衛生害虫とネズミ 公害と環境保全	衛生害虫 ネズミ 水質汚濁		
14	理容所・美容所の衛生管理 衛生的取扱い	自主的管理 施設と設備 施設・設備・器具の管理		
15	期末試験	期末試験		
16~ 28	国家試験対策	国家試験対策		

回	テ ー マ	内 容
29	期末試験	期末試験

回	テ ー マ	内 容		
30	期末試験 解答と解説	期末試験解答と解説		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	衛生管理	期末試験	100.0%	【準備学習】前回の復習をし、授業内容を踏まえて教科書を読んでおく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健Ⅱ		美容学科/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師と健康、公衆衛生との関係を理解する ・美容師に必要な人体の構造と機能を理解する ・人体の構造及び機能を全体的に学習し、包括的に理解する ・皮膚と皮膚付属器官の構造や生理機能を理解する <small>国家試験の課題に取り組み、美容師に求められる知識を身に付ける</small>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・保健を学ぶ意味がわかる ・人体の構造と機能が、系統的に理解できる ・美容師国家試験合格レベルの知識習得 ・美容師国家試験合格 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		看護師経験16年		
時間外に必要な学修				
復習として、ワークシートの整理を毎回行う(テキストのポイント確認) 提出物準備行動				
回	テーマ	内 容		
1	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造 ・皮膚付属器官の構造 		
2	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造 ・皮膚付属器官の構造 		
3	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の循環器系と神経系 		
4	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・骨格器系 		
5	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の生理機能 		
6	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の生理機能 		
7	人皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の生理機能 		
8	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の保健 		
9	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の保健 		
10	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の保健 		
11	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の保健 		
12	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の疾患① 		
13	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の疾患① 		
14	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と皮膚付属器官の疾患① 		

回	テ ー マ	内 容
15	前期復習 前期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期学習項目の復習とポイント整理 ・ 前期期末試験

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品化学Ⅱ		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	
授業の概要				
美容師の業務を行う上で必要な化粧品学の基礎知識について学習する 化粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する 過去問を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	導入～授業の概要説明 1章 化粧品概論 1節 化粧品の社会的意義と品質	導入 化粧品の社会的意義と品質、必要条件について		
2	1章 化粧品概論 2節 化粧品の規制 2節 化粧品の安定性と取扱い上の	化粧品の定義、製造販売の規制、品質等の規制、表示広告の規制について 化粧品の安定性 経時変化 使用上の取扱い上の注意につ		
3	1章 化粧品概論 4節 化粧品と安全性 2章 化粧品用原料	化粧品と安全性、表示成分と安全性、化粧品によるトラブルについて 化粧品の種類と化粧品 皮膚と水 頭皮・毛髪の状態		
4	2章 化粧品用原料 2節 水性原料 2節 油性原料	水性原料である、水、エタノール(エチルアルコール)について 油性原料である、油脂、アルコール、炭化水素、その他の油性		
5	2章 化粧品用原料 4節 界面活性剤	界面活性剤の基本的性質、種類、化粧品への応用について		
6	2章 化粧品用原料 5節 高分子化合物 6節 色材	高分子化合物の種類と特性、化粧品への応用について 色材と化粧品、無機顔料、有機合成色素(タール色素)、 天然色素について		
7	2章 化粧品用原料 7節 香料 8節 その他の配合成分	香料と化粧品、香料の種類、調合香料について 化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、化粧品配合成分がもたらす機能、その他の特殊成分について		
8	2章 化粧品用原料 9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料	合成樹脂、接着剤、塗料について 皮膚の汚れと性状作用、石けんの種類とその性質、その他の洗剤について		
9	3章 基礎化粧品 2節 化粧水 2節 クリーム・乳液	化粧水の種類と機能性について クリーム・乳液の皮膚への作用、クリームの種類と機能、 乳液の種類と機能について		
10	3章 基礎化粧品 4節 その他の基礎化粧品 4章 メイクアップ用化粧品	シェ、一ビング用化粧品(理容)、化粧液(美容液、美容エッセンス)、打粉(ベビーパウダー)類、パック剤について		
11	4章 メイクアップ用化粧品 3節 ポイントメイクアップ化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品	ポイントメイクアップ化粧品の紅類、アイメイクアップ化粧品類、ネイル技術用化粧品類(マニキュア製品)について シャンプー剤について		
12	5章 頭皮・毛髪用化粧品 1節 シャンプー剤 2節 ヘアリンズ剤	ヘアリンズ剤、ヘアトリートメント剤について スタイリング剤の機能、油性スタイリング剤、液状スタイリング剤、高分子物質を基材とするスタイリング剤について		
13	5章 頭皮・毛髪用化粧品 3節 パーマ剤	パーマ剤の原理、分類、パーマ剤第1剤、パーマ剤第2剤、パーマ剤の使用上の注意について		
14	5章 頭皮・毛髪用化粧品 4節 ヘアカラー製品 5節 育毛剤	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム、一時染毛料、半永久染毛料、脱色剤・脱線剤、永久染毛剤、ヘアカラー製品の使用上の注意、その他のヘアカラー製品について		

回	テーマ	内容		
15	6章 芳香製品と特殊化粧品 1節 芳香製品 2節 特殊化粧品 教科書・教材	香水、オーデコロン、その他の芳香製品、芳香製品の効用と使用上の注意について スキンケア製品、美白用化粧品、制汗剤、除臭剤、ニキビ用		
		評価基準	評価率	その他
	日本理容美容教育センター 化粧品化学	期末試験	100.0%	・主体的に授業参加し学習する。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論Ⅱ		美容学科/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	46回	6単位(92時間)	必須	
授業の概要				
美容技術を裏付ける基本的理論を習得する 技術理論を把握することにより技術が成り立つことを理解する 美容師試験合格を目指し、過去問題などにより応用力をつける				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	エステティック	エステティック概論 皮膚の生理と構造		
2	エステティック	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論 フェイシャルケア技術		
3	エステティック	フェイシャルパック ボディケア ボディマッサージ		
4	ネイル技術	ネイル技術理論 ネイル技術の種類 爪の構造と機能		
5	ネイル技術	ネイル技術と公衆衛生 カウンセリング ネイルケア		
6	ネイル技術	アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ		
7	メイクアップ	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察 メイクアップと色彩		
8	メイクアップ	メイクアップの道具 スキンケア ベースメイクアップ		
9	メイクアップ	リップメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ まつ毛エクステーション		
10	日本髪	日本髪の由来 日本髪の各部の名称 日本髪の種類と特徴		
11	日本髪	日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具 日本髪の結髪技術		
12	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節		
13	着付けの理論と技術	帯締め、帯揚げの結び方 男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもとの結び方		
14	前期末試験	前期末試験		

回	テ ー マ	内 容
15	前期復習	前期復習

回	テ ー マ	内 容		
16～ 46	国家試験対策	学科対策問題の解答、解説 過去問題の試験及び解答、解説		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論2	期末試験 授業態度 出席率	80.0% 10.0% 10.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理		美容学科/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	
授業の概要				
美容師として仕事を進めていく上で、接客の役割、心構え、美容業経営戦略・マーケティング、労務管理を理解し身に付ける				
授業終了時の到達目標				
実際の仕事を始めた時に起きる問題に前向きに向き合える意識を習得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験 これまでの経験や知識を活かし美容室の経営や運営を理解させる		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	第1編 経営者の視点	経営とは・経営者とは		
2	第1編 経営者の視点	理容業・美容業の経営について		
3	第1編 経営者の視点	資金の管理		
4	第2編 人という資源 従業員としての視点	人という資源		
5	第2編 人という資源 従業員としての視点	健康・安全な職場環境の実現		
6~7	第2編 人という資源 従業員としての視点	従業員としての視点から		
8~14	国家試験対策	国家試験対策		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容運営管理		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・ノートを用いて予習する

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
まつ毛エクステンション		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	
授業の概要				
お客様の安心、安全を何より重視し健康被害のリスク等情報を提供できる技術者となる。				
【実務経験】井川泉：美容師として13年の実務経験 美容所での衛生管理の必要性を指導する				
授業終了時の到達目標				
技術者認定試験の合格を目指す。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	導入 概論 まつ毛エクステンションの用具	まつ毛エクステンション概論 備品・道具・用材・材料		
2	衛生管理	病原微生物 殺菌、消毒、滅菌、防腐、除菌		
3	衛生管理	消毒の種類、手順、手指消毒、滅菌の種類		
4	保健	眼に関する知識 皮膚に関する知識 まつ毛に関する知識		
5	カウンセリング	カウンセリングの目的 注意と説明事項		
6~ 7	カウンセリング	カウンセリングの実際		
8~ 9	理論	理論の復習と筆記対策		
10	実技	事前準備 テーブルセッティング		
11~ 13	実技	エクステンションの装備		
14~ 15	実技	エクステンションのリムービング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ABE text book		確認テスト 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル		美容学科/2年	2021/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	2単位(46時間)	選択	
授業の概要				
授業終了時の到達目標				
ジェルネイル技能検定試験初級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ジェルとは(理論)	教材説明 ジェルの成分、硬化の仕組みなど		
2	ジェルの塗り方と注意点 デモンストレーション	ジェル塗布前のケア(ドライケア)の仕方 ジェル塗布の仕方 ジェルのオフの仕方		
3	ジェル実習	自分の手でのケア・ジェル塗布・ジェルオフまで		
4	ジェルを使ったアート	ピーコックのデモンストレーション・実習		
5~ 6	ジェル・ピーコックの実習	ハンドを使つてのジェル・ピーコック実習 タイムトライアル		
7~ 13	ジェル・ピーコック・カラーポリッシュの実習	ハンドでのジェル塗布、ジェルアート、カラーポリッシュ (タイムトライアル)		
14~ 15	ジェルネイル技能検定試験模擬テスト	ハンドでのネイリスト技能検定試験模擬テスト		
16~ 18	ジェルグラデーションの実習			
19~ 21	フレンチの実習			
22~ 23	ジェルアートの実習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	10.0%	
		授業態度	30.0%	
		確認テスト	30.0%	
		期末試験	30.0%	